

# 仙台市議会 (市政活動報告) 会派「蒼雲の会」

発行／会派「蒼雲の会」 加藤けんいち



元気  
アップ!  
仙台!!

## 【連絡先】

〒980-8671  
仙台市青葉区国分町3-7-1  
仙台市議会「蒼雲の会」  
TEL 022-214-8568

## 【事務所】

〒981-0952  
仙台市青葉区中山4-6-34  
会派「蒼雲の会」加藤けんいち事務所  
TEL/FAX 022-279-5255

仙台市議会議員 (青葉区)

# 加藤けんいち

令和3年8月号

<http://www.katoken-sendai.com>

## 新しい生活様式でコロナを乗り越えよう!

本市の感染者数は減少傾向にあります。新規陽性者数における20代の方の割合が増加しており全年代の中で最も大きな割合を占めています。行動が活発な若者世代の感染が半数以上を占め50%以上が感染経路不明という点も気になることです。もう一度自分たちの行動を振り返り感染の再拡大を防ぐ努力をしましょう。また、全国的に変異株の割合が増えており他の自治体では約9割近くが変異株に置き換わってきているところもあり、仙台市においても感染性が高いとされているL452R等の変異がある新たな変異株が確認されるなどウィルスとの闘いは長期戦を覚悟しなくてはなりません。一方で65歳以上の高齢者を中心にワクチン接種が進みコロナ後を見据えた取組みも同時に進めて行く必要があります。早期に経済・社会活動が本格化できるよう中小企業をはじめとした事業者への支援策についても拡充を図っているところであります。新型コロナウイルス感染症という未曾有の国難を乗り越えるためにも、感染症に負けない新たな生活スタイルを身に付けて共に立ち向かってまいりましょう。



## みなさまから頂いた声を反映しております



道路修繕 (安全対策)  
中山商店街バス通り



歩道整備 (安全対策)  
北六番丁交差点



歩道橋階段整備  
通町歩道橋



ピクトグラム設置  
上杉3丁目地内

## 伊達政宗公「胸像」の修繕と「青葉山公園センターへの移設」を提案

3月3日、予算委員会土木費について質疑に立ちました。仙台市博物館の中庭にひっそり佇んでいる伊達政宗公「胸像」、2月15日の地震により前立てが先端から64cm破損してしまいましたがブロンズ彫刻の修繕を手掛ける東京の業者に修理を依頼し3月中に修復するという答弁を引き出しました。また、騎馬像製作者の彫刻家「小室達(とおる)」さんは重臣片倉家の出身地白石高校卒業生であることから、旧片倉家屋敷跡に建設が予定されている(仮称)青葉山公園センターへの移設を提案、建設局長からは「現在、胸像は博物館敷地内の奥まった場所にある。多くの来訪者が間近に見て藩政時代からの歴史を感じられるよう追廻地区整備と併せ公園センター周辺への移設を検討する」という前向きな答弁を頂きました。



# 第1回臨時会(新型コロナ対策)にて「代表質疑」を行いました

1月5日、令和3年仙台市議会第1回臨時会が開会され会派を代表し質疑いたしました。本臨時会に提案された議案は、国分町エリアの飲食店に対する時短要請とその協力金についてであります。営業時間の短縮要請は、病床の逼迫を防ぎ医療崩壊を招かないためにも必要な措置であるならば本市の置かれている医療体制がどのような状況になっているかを先に説明すべきであるという観点から、①『政府が示す感染状況ステージの指標と本市の状況』の認識を問ひ②『営業時間の短縮要請の前提となる医療体制の現状』について確認し、対象となる飲食店に対して丁寧な説明と理解を求める取組みをすること。また、③『感染症拡大防止協力金の支給』にあたっては、対象となる期間・施設・要件・エリア・支給手続きについて質疑し特に、エリアについて「国分町エリアを時短要請することによって仙台駅前人が流れることは考えにくく総じて客足が遠のき不必要な不公平を生んでしまう」ことや、「年始の国分町はそもそも休みが多くむしろ仙台駅前を対象にしたほうが効果がある」旨を提案し新型コロナウィルス感染症拡大防止のためには仙台駅前まで対象とすべきと提言しました。さらに、④『今後の需要喚起策』として、地域内の経済循環を高めるための「商店街応援割増商品券」発行支援の再取組み等必要なことはアクセスを踏み込むための次の施策を同時に打ち出すことであり早急の対応を求めました。



## 第1回定例会が開催されました

2月8日から3月12日にかけて仙台市議会第1回定例会が開催されました。

今回の定例会では条例案16件・人事案3件・その他案13件・令和2年度補正予算13件・令和3年度当初予算17件の計62件に加え、新型コロナウィルス関連の補正予算や2月13日の地震被害に対応した補正予算など追加議案9件と議員報酬削減の議員提案2件を含め計73件の審議が行われました。新年度の特徴は、令和3年度から始動する新たな仙台市基本計画に基づき「社会変化を力に変えるまちづくり」「人のつながりが育む豊かな地域づくり」「社の都の可能性を広げるまちづくり」に予算を重点配分し一般会計で5764億円、企業会計を含む全会計の合計は震災以降引続き1兆円超の規模となりました。



## 第1回定例会において「一般質問」を行いました【主な質疑】

### 青葉通仙台駅西口公共空間あり方について

**問** 仙台駅西口のあり方検討は20年30年先を見据えた本市のまちづくりを進めるためには、コロナ禍にあっても優先順位が極めて高く早急に方向性を示すべき最重要課題であると考えますが市長の所見を伺う。

**答 市長**：仙台駅西口は、人が中心となって交流と賑わいを生む、新しい都市空間の創出が求められる場所であり、青葉通の一部広場化は、隣接する旧さくら野地区、向かい側のエデン地区で検討されている開発と合わせまして、魅力・活力のある都心の再構築において重要なファクターであると認識しております。今年度は、青葉通の全面あるいは車道の一部の広場化などのパターンごとに交通シミュレーションを行っております。今後、具体化に向けましては、関係機関や地元の方々との意見交換を行う場を設けながら検討を進めてまいります。実現に向けましては、市民や事業者の皆様と、仙台駅西口の将来像を広く共有し、共通認識のもとで、多様な主体が集い、魅力あるコンテンツが生まれる環境をつくるのが肝要であると考えてございます。引き続き、持続的な活力の創出と選ばれる都市に向けまして、取り組みを着実に進めてまいりたいというふうに考えてございます。

**問** 青葉通仙台駅西口にある旧さくら野ならびにエデン地区など民間開発と連携した一体的な利用が必要不可欠ではあるが、それぞれの権利者の合意形成が前提となる。都市再生特別地区の指定を受けた開発となれば、都市貢献としての広場化と一体的な整備も可能かと思われるが当局の認識を伺う。

**答 都市整備局長**：都市再生特別地区を活用する開発の場合、青葉通の一部広場化を民間開発と一体的に整備を行うことは可能であり、沿道の土地利用と連携した賑わい創出や都心回遊の拠点形成など、魅力ある空間の創出に向けた相乗効果が期待できるものと考えております。広場化の実現に向けては、様々な課題の解消や、市民の皆様のご理解とともに、民間開発とのスケジュールの整合も必要となりますが、新年度の仙台駅西口のあり方検討にあたって、これらの課題を解決し、早期に具体化できるよう事業者と密に連携・調整を図りながら、官民で駅前エリアの将来像実現に向けて、鋭意、取り組みを進めてまいります。

### 大規模財政出動の優先順位について(音楽ホールと中心部メモリアル拠点)

**問** 「音楽ホール基本構想の策定」と「中心部震災メモリアル拠点基本構想の策定」について、昨年の第3回定例会にてコロナ禍も踏まえ今後の財政見通しとの整合が必要であり、大規模財政出動が伴う「市役所本庁舎建替え」と同時並行して進めることは厳しいため優先順位をつけるよう決断を求めてきたが、市長はどちらも重要な施設であり整備の在り方について鋭意検討していく旨の答弁を繰り返している。そこで提案するが中心部震災メモリアル拠点整備を優先してはいかかが、東日本大震災から10年記憶を風化させないためにも世代を超えて記憶や経験を継承する拠点を優先すべき。

**答 市長**：風化が懸念される中、震災の経験と教訓の継承、そして発信の機能を持つ中心部震災メモリアル拠点と、それから楽都・仙台の文化芸術拠点となる音楽ホール。私は、いずれの施設も本市のまちづくりにとって大変重要な役割を担うものと認識しております。今後、コロナ禍などの社会経済情勢を踏まえながら、それぞれの施設の整備方針について検討を進めてまいりる考えでございます。

**問** 昨年市民会館と戦災復興記念館の廃止方針が打ち出された、中心部震災メモリアル拠点の整備にあたっては、市民利用施設との合築を提案するがいかかが。

**答 市長**：昨年には、市民会館及び戦災復興記念館のホール機能について、音楽ホールが整備された後は更新を行わない方向での検討が望ましいとの整理を行いました。今後、これら施設のホール機能以外のあり方の検討も必要になってまいります。中心部震災メモリアル拠点につきましては、検討委員会の報告書において、他施設との一体的整備検討の必要性も示されておりますことから、他施設との複合化の可能性も含めまして、コスト削減や効果的な運営のための整備手法について、鋭意検討を進めてまいりたいと存じます。

## 第2回臨時会(新型コロナ対策)にて「代表質疑」を行いました

4月15日会派を代表し登壇いたしました。少数会派所以の限られた持ち時間の中で大綱2点について市長の考えを質しました。1点目は「本市の主体性と宮城県との対応」について、まん延防止等重点措置の権限は知事にあるものの適用区域は本市であることから、市長は知事に対し何を提案されたのか採用された提言や却下された内容等協議状況について確認し、期間の延長あるいは終了の判断のあり方について提言しました。2点目は「感染症拡大防止協力金」について、支給手続きの委託業者が高齢者ワクチン接種の事務処理を受託している事業者と同一であることを指摘し万全の体制となるよう求めました。また、今回補正予算として提案されている拡大防止協力金の他、高齢者施設の職員を対象とした定期検査や飲食店従業員を対象としたPCR検査など、委託業者は東京の事業者であってもDM発送に伴う説明書や封筒などの印刷物は地元業者へ優先発注するよう強く求めました。地域経済への影響が大きいとの発言を繰り返すのであれば関連事業者支援金などに該当せず支援が行き届いていない業界団体への対策として地元発注を特に意識すべきと指摘いたしました。



## 第2回定例会が開催されました

6月8日から6月23日にかけて仙台市議会第2回定例会が開催されました。

今回の定例会では条例案4件・人事案3件・その他案3件・令和3年度補正予算2件の計12件に加え、議員提案の仙台市議会会議規則の一部を改正する規則について審議可決いたしました。条例案では、泉パークタウン朝日地区計画の区域内の建築物に関する制限を定める条例の一部改正。その他案件では5月7日および5月14日に専決処分された感染症拡大防止協力金事業費の追加。補正予算については自宅療養者の健康相談等を担う看護師を各区保健所へ配置する「看護師配置に要する経費の追加1億1428万円」、感染症指定医療機関や宿泊療養施設等と自宅との感染症患者の移送に要する経費として「感染症患者移送費の追加2億7943万円」、高齢者施設等の職員を対象とした検査に要する経費として「高齢者施設等検査事業費の追加3億3750万円」、総合支援資金特例貸付の再貸付が終了するなど更なる貸付を利用できない生活困窮世帯に対する「生活困窮者自立支援金9億4462万円」、そして「ワクチン接種に係る経費132億1361万円」など合計で163億円の補正予算について審議可決いたしました。



## 第2回定例会において「一般質問」を行いました【主な質疑】

### 地元企業への優先発注について

**問** 新型コロナウイルス感染症対策関連事業に係る業務委託の状況について調査した結果、市民局の地元発注は新聞広告掲載など率にして僅か1.95%、子供未来局は66万円の印刷代など3事業者297万円で地元発注率4.5%、健康福祉局は最大の発注量となる16歳から64歳の市民約66万人への接種券は地元企業への発注とはならず、経済局は企業連合への発注となっており地元企業も含まれているが連合体であるため地元への発注状況を把握することは難しい結果であった。このように地元企業の優先発注について実態は充分とは言えない、市長はどのように評価されているのか今後の取組みも合わせて伺う。

**答 市長**：これまで、地元企業に対して契約の相手方とすることに努めるように指示をしてきたところでございますが、新型コロナウイルス感染症に係る様々な施策は、多くの市民や事業者を対象として迅速かつ的確に対応する必要があるものが多く、契約までの時間的な制約もある中で、業績や実績やノウハウのある事業者に発注せざるを得なかったものがあつたと認識をしております。しかし、そうした業務におきましても、受注した事業者に対しましては、可能な限り地元業者を活用するよう依頼をしております。着実な業務の遂行を確保しつつも、感染症の影響が長期化し、地域経済が厳しい環境に置かれていることを踏まえれば、地元企業への優先発注を促進することは重要性を増しているところでございます。働く方々の雇用を維持し、地域経済の活性化を図る観点から、事業内容をさらに精査をいたしまして、本市経済を支える地元企業の積極的な活用に努めてまいりたいと存じます。

### 公立学校設備の安全点検について

**問** 4月27日白石市の白石第一小学校で、校庭のネットを支える木柱が折れて男子児童2人にぶつかり、このうち1人が死亡するという痛ましい事故が発生した。私は平成30年に岐阜市において校庭にある照明用のコンクリート柱が倒壊した事故を踏まえこの年の決算等審査特別委員会において安全点検の必要性について求め質疑したが、その後の取組み状況について伺う。また、白石市の事故を受け本市の点検結果と今後の対応について伺う。

**答 教育長**：市立学校では、年2回実施しております定期点検において、防球ネットや照明灯のコンクリート柱の点検を行っておりますが、平成30年の岐阜市での事故以降、修繕を要するような不具合は確認されておられません。また、4月27日の白石市の事故を受け、翌28日には全市立学校に対し防球ネットの緊急点検の指示を行っております。その結果、防球ネットを有する148校のうち、木造のものはございませんでしたが、金属製の支柱にサビ等がみられるといったものが11件報告されております。緊急の対応を要するものはございませんでしたが、これらについては必要な修繕等を行ってまいります。さらに現在、学校施設・設備全体についての点検を実施しているところであり、不具合等の早期発見と修繕等の対応を行うことで、安全・安心な教育環境の確保に努めてまいりたいと存じます。

### 修学旅行キャンセル料の助成について

**問** 昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響による修学旅行の中止で生じる取消手数料の保護者負担軽減を図るため助成金により対応して頂いた、今年度も同様の対応を求める。

**答 教育長**：今年度は、キャンセル料の一部助成制度は設けておりませんが、その旨を学校に通知したところでございまして、現在そのような運用を行っております。引き続き、各学校の状況を随時確認するとともに、今後の新型コロナウイルス感染状況などについても注視しながら、必要に応じて対応を検討してまいりたいと考えております。

○相談ごと・ご意見などお寄せ願います。

---



---



---



---



---



---

お名前

ご住所

電話番号

## ワクチン接種に係る緊急要請

5月28日、新型コロナウイルスワクチン接種のキャンセル時の対応について郡市長宛要請書を健康福祉局長に提出いたしました。キャンセル時の対応については現状において具体的な方法・対象者は示されておらず「キャンセル待機リスト」等の作成を要請いたしました。私立を含めた「教職員」・認定こども園・児童センターなど「幼児保育関係者」市消防局職員など「救急隊員」保健福祉センターなど「保健所関係職員」さらに、感染した場合の養育リスクが高まる「就学前児童の保護者」への接種を優先的に進めることを求めました。医療従事者のワクチン接種割合は80000人中1回接種が73000人、2回接種が49000人まで完了、24日から始まった大規模接種会場では約1500件の予約中14～15人のキャンセルが発生していることから、余ったワクチンは未対応の医療従事者や潜在看護師・スタッフに接種するなど暫定的な対応を行っているとのことでした。対象者や優先接種者について早急に構築するよう要請いたしました。



## 次世代放射光施設建設工事を視察

6月7日、光科学イノベーションセンターのご協力により次世代放射光施設の建設工事と最近の状況についてヒアリングの機会を頂きました。一年前の8月に現地を視察させて頂いた際は土木工事の真っ最中でありましたが、建物の概況が見て取れるようになり5月末現在の工事進捗率は51%と順調に建屋新築が進められておりました。本年12月には加速器の搬入を予定し年度末には建築完了検査を受け2023年3月竣工に向けて工事が進められていくこととなります。コアリションメンバーの状況は、加入目標210口に対して意向表明100口に留まっており参画企業の獲得が今後の課題であり昨年議会でも仙台市の更なる協力を求めた経過にありますので検証してまいりたいと思います。仙台市はこれまで、整備資金の無利子貸付・固定資産税相当額の補助(総額30億円)や地元企業などへ利用権(2000時間)を付与するための加入金5億円の出資を行ってきておりますが、大切なことは今後の放射光施設を活用される研究機関と生産工場の誘致でありますのでしっかりと議論をしてまいりたいと思います。



### 仙台市議会議員 加藤けんいち

生年月日 昭和43年12月24日

住 所 仙台市青葉区木町通2-6-48-503

“カトケン”は

安心・安全・安定 な社会をつくります。

『安心』して暮らせる都市づくり

『安全』でやすらぎある住みよい都市づくり

『安定』した市民生活を支える都市づくり

